

3歳児健診 診察手順の例

準備

- ・問診票（既往歴・発達歴・生活歴・予防接種・養育環境）の確認
- ・身体計測結果（身長・体重・頭囲・胸囲・肥満度）と成長曲線の確認
- ・大小や長短などの弁別の確認

パンツ1枚で歩いて入室

- ・保護者と別の小さい椅子に座るように指示（怖がったら、保護者の膝の上に児を座らせる）
→精神発達・社会性の確認
- ・座ったら児と目を合せて「こんにちは」と挨拶をする

会話（本人と保護者）

- ・児の名前「お名前は？」、年齢「いくつ？」などたずねる。
→言語発達・コミュニケーション能力・場や医師に慣れる準備でも
- ・「何か気になることはありますか？」とたずねて、診察の参考にする。

3歳児健診 診察手順の例

診察

- ・ペンライトで眼位、白色瞳孔の有無
- ・座位のままで視診、聴診、触診を行う。
- ・ベッド上または保護者の太もも～膝の上
（仰臥位にして）腹部・子どもに声をかけて外性器を触診
- ・皮膚所見・多数または不自然な傷痕→児童虐待の早期発見
- ・仰臥位または立位で、下肢の視診

椅子から
下ろす

- ・（両足でのジャンプ・片足立ち：3歳1か月ではできない子も多い）
→協調運動・神経系・運動発達
- ・（保護者の方に向かせて、後ろからのささやき声にて聴力を診る）
- ・保護者に向かってお辞儀をさせ脊柱の様子

保護者へ

- ・保護者に説明を行い、母子健康手帳に必要事項を記入する。
- ・もう一度、「何か心配なことはありますか？」とたずねる。短い回答で済まないものは、保健師に連絡し保健指導や子育て支援の対象に上げる

集団検診では、医師一人が全てを診ることは困難、保健師も含めてチェックできるように設計する必要